

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-320415

(43) 公開日 平成10年(1998)12月4日

(51) Int.Cl.^a 識別記号

G 0 6 F 17/30
13/00 3 5 1

H 0 4 L 12/54
12/58

F I

G 0 6 F 15/403 3 4 0 A
13/00 3 5 1 G
15/40 3 1 0 F

H 0 4 L 11/20 1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数13 F D (全 41 頁)

(21) 出願番号 特願平9-139316

(22) 出願日 平成9年(1997)5月14日

特許法第64条第2項ただし書の規定により図面第28図の一部は不掲載とした。

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 榎本 隆昭

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

株式会社内

(72) 発明者 西岡 久雄

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

株式会社内

(72) 発明者 古賀 禎治

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

株式会社内

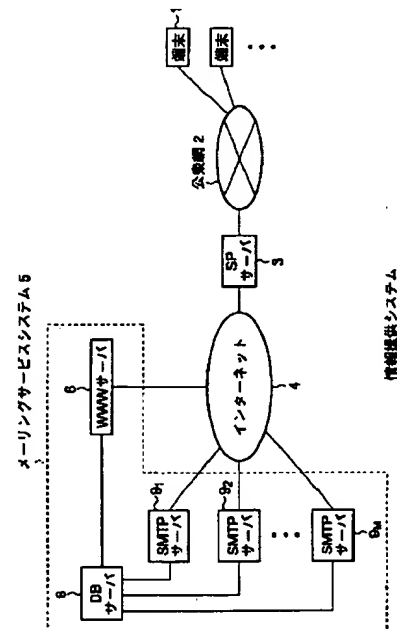
(74) 代理人 弁理士 榎本 義雄

(54) 【発明の名称】 情報処理装置および情報処理方法、並びに記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 ユーザが希望する情報を、効率的に配信する。

【解決手段】 例えば、端末1などのユーザが、WWWサーバ6が提供するホームページに、自身の嗜好に関する嗜好情報を入力することで、WWWサーバ6には、その嗜好情報が記憶される。一方、DBサーバ8では、情報提供者からの情報が、その情報を配信する対象とするユーザに関する配信条件とともに記憶される。そして、DBサーバ8では、嗜好情報と合致する配信条件を有する情報が検索され、複数の情報が検索された場合には、その複数の情報が統合され、1つの電子メールの中に配置される。この電子メールは、SMTPサーバ9₁乃至9_nによって送信される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザに配信する情報を処理する情報処理装置であって、
前記ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶する嗜好情報記憶手段と、
前記情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶する配信条件記憶手段と、
前記嗜好情報と合致する前記配信条件を有する前記情報を検索する検索手段と、
前記検索手段により複数の前記情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とする統合手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 前記統合情報を送信する送信手段をさらに備えることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 前記送信手段は、コンピュータネットワークを介して、前記統合情報を送信することを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】 前記送信手段は、前記統合情報を、前記ユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信することを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】 前記コンピュータネットワークを介して送信されてくる前記嗜好情報を受信する受信手段と、前記嗜好情報を前記嗜好情報記憶手段に登録する登録手段とをさらに備えることを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項6】 ユーザに配信する情報を処理する情報処理方法であって、
前記ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、前記情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、
前記嗜好情報と合致する前記配信条件を有する前記情報を検索し、
複数の前記情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とすることを特徴とする情報処理方法。

【請求項7】 ユーザに配信する情報を、コンピュータに処理させるプログラムが記録されている記録媒体であって、
前記ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、前記情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、
前記嗜好情報と合致する前記配信条件を有する前記情報を検索し、
複数の前記情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とする処理を行わせるためのプログラムが記録されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項8】 情報を、ユーザを特定するためのアドレ

スを宛先にして送信するための処理を行う情報処理装置であって、

前記ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶する嗜好情報記憶手段と、

前記情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶する配信条件記憶手段と、

所定のユーザの前記嗜好情報と合致する前記配信条件を有する前記情報を検索する検索手段と、

前記検索手段により検索された前記情報を、前記所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信する送信手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項9】 前記検索手段により複数の前記情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とする統合手段をさらに備え、

前記送信手段は、前記統合情報を送信することを特徴とする請求項8に記載の情報処理装置。

【請求項10】 前記送信手段は、コンピュータネットワークを介して、前記情報を送信することを特徴とする請求項8に記載の情報処理装置。

【請求項11】 前記コンピュータネットワークを介して送信されてくる前記嗜好情報を受信する受信手段と、前記嗜好情報を前記嗜好情報記憶手段に登録する登録手段とをさらに備えることを特徴とする請求項10に記載の情報処理装置。

【請求項12】 情報を、ユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信するための処理を行う情報処理方法であって、

前記ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、前記情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、

所定のユーザの前記嗜好情報と合致する前記配信条件を有する前記情報を検索し、
その検索された前記情報を、前記所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信することを特徴とする情報処理方法。

【請求項13】 情報を、ユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信するための処理を、コンピュータに行わせるプログラムが記録されている記録媒体であって、

前記ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、前記情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、

所定のユーザの前記嗜好情報と合致する前記配信条件を有する前記情報を検索し、

その検索された前記情報を、前記所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信する処理を行わせるためのプログラムが記録されていることを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報処理装置および情報処理方法、並びに記録媒体に関し、特に、例えば、インターネットなどにおいて、電子メールなどにより、ユーザが自身の嗜好にあった情報の配信を効率的に受けることができるようにする情報処理装置および情報処理方法、並びに記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】例えば、最近急速に普及してきたインターネットでは、電子メール(E-mail)によるメーリングサービスやメーリングニュースなどの提供が行われている。ユーザは、所定の情報の提供を受けたい場合に、その所定の情報を提供する情報提供者が管理するメーリングリストに登録すると、その情報提供者からの情報を、電子メールで受けることができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、メーリングサービスやメーリングニュースでは、情報提供者が提供する情報すべてが、メーリングリストに登録されたユーザすべてに配信される。しかしながら、メーリングリストに登録されたすべてのユーザが、そのメーリングリストを管理する情報提供者が提供する情報すべてを必要としているとは限らない。即ち、あるユーザAは、情報提供者が提供する情報の一部だけを必要とし、他については必要としない場合があり、また、他のユーザBは、情報提供者が提供する情報のうちの、ユーザAとは異なる部分だけを必要とし、他については必要としない場合がある。

【0004】メーリングサービスやメーリングニュースでは、メーリングリストに登録されたユーザすべてに、一律に、同一内容の電子メールが配信されるため、各ユーザから見れば、上述のように、その内容に、自身が必要とする情報だけが含まれているとは限らず、不要な情報が含まれていることも多い。このため、ユーザは、配信された電子メールの中から、自身が必要とする情報を探し出す必要がある場合があり、面倒であった。

【0005】また、ユーザは、所望の情報が複数種類(複数カテゴリ)ある場合には、そのような複数のメーリングリストに登録することにより、所望する複数種類の情報の配信を受けることができる。しかしながら、この場合、ユーザには、各情報提供者それぞれから電子メールが配信、即ち、複数の電子メールが配信される。このように、1のユーザに対して、複数の電子メールが配信されるのは効率的でないし、また、この場合、ユーザは、その複数の電子メール1つ1つを開いて見る必要があり、面倒であった。

【0006】本発明は、このような状況に鑑みてなされたものであり、ユーザそれぞれに、そのユーザの嗜好にあった情報を、効率的に配信することができるようにするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の情報処理装置は、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶する嗜好情報記憶手段と、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶する配信条件記憶手段と、嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索する検索手段と、検索手段により複数の情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とする統合手段とを備えることを特徴とする。

【0008】請求項6に記載の情報処理方法は、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索し、複数の情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とすることを特徴とする。

【0009】請求項7に記載の記録媒体は、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索し、複数の情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とする処理を、コンピュータに行わせるためのプログラムが記録されていることを特徴とする。

【0010】請求項8に記載の情報処理装置は、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶する嗜好情報記憶手段と、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶する配信条件記憶手段と、所定のユーザの嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索する検索手段と、検索手段により検索された情報を、所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

【0011】請求項12に記載の情報処理方法は、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、所定のユーザの嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索し、その検索された情報を、所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信することを特徴とする。

【0012】請求項13に記載の記録媒体は、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、所定のユーザの嗜好情報と合致する配信条件を有する前記情報を検索し、その検索された情報を、所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信する処理を、コンピュータに行わせるためのプログラムが記憶されていることを特徴とする。

【0013】請求項1に記載の情報処理装置においては、嗜好情報記憶手段は、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶し、配信条件記憶手段は、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶するようになされている。検索手段は、嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索し、統合手段は、検索手段により複数の情報が検索

10

20

30

40

50

された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とするようになされている。

【0014】請求項6に記載の情報処理方法においては、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索し、複数の情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とするようになされている。

【0015】請求項7に記載の記録媒体には、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索し、複数の情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とする処理を、コンピュータに行わせるためのプログラムが記録されている。

【0016】請求項8に記載の情報処理装置においては、嗜好情報記憶手段は、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶し、配信条件記憶手段は、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶するようになされている。検索手段は、所定のユーザの嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索し、送信手段は、検索手段により検索された情報を、所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信するようになされている。

【0017】請求項12に記載の情報処理方法においては、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、所定のユーザの嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索し、その検索された情報を、所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信するようになされている。

【0018】請求項13に記載の記録媒体には、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶するとともに、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶しておき、所定のユーザの嗜好情報と合致する配信条件を有する前記情報を検索し、その検索された情報を、所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信する処理を、コンピュータに行わせるためのプログラムが記憶されている。

【0019】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を説明するが、その前に、特許請求の範囲に記載の発明の各手段と以下の実施の形態との対応関係を明らかにするために、各手段の後の括弧内に、対応する実施の形態（但し、一例）を付加して、本発明の特徴を記述すると、次のようになる。

【0020】即ち、請求項1に記載の情報処理装置は、ユーザに配信する情報を処理する情報処理装置であって、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶する嗜好情報記憶手段（例えば、図34に示すユーザプロフィールデ

ータベース86など）と、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶する配信条件記憶手段（例えば、図34に示すメールパーツデータベース92など）と、嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索する検索手段（例えば、図34に示すマッチング部93など）と、検索手段により複数の情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とする統合手段（例えば、図34に示すメール作成部94など）とを備えることを特徴とする。

【0021】請求項2に記載の情報処理装置は、統合情報を送信する送信手段（例えば、図38に示す通信制御部102など）をさらに備えることを特徴とする。

【0022】請求項5に記載の情報処理装置は、コンピュータネットワークを介して送信されてくる嗜好情報を受信する受信手段（例えば、図29に示す通信制御部81など）と、嗜好情報を嗜好情報記憶手段に登録する登録手段（例えば、図29に示す登録部85など）とをさらに備えることを特徴とする。

【0023】請求項8に記載の情報処理装置は、情報を、ユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信するための処理を行う情報処理装置であって、ユーザの嗜好に関する嗜好情報を記憶する嗜好情報記憶手段（例えば、図34に示すユーザプロフィールデータベース86など）と、情報を配信するユーザに関する配信条件を記憶する配信条件記憶手段（例えば、図34に示すメールパーツデータベース92など）と、所定のユーザの嗜好情報と合致する配信条件を有する情報を検索する検索手段（例えば、図34に示すマッチング部93など）と、検索手段により検索された情報を、所定のユーザを特定するためのアドレスを宛先にして送信する送信手段（例えば、図38に示す通信制御部102など）とを備えることを特徴とする。

【0024】請求項9に記載の情報処理装置は、検索手段により複数の情報が検索された場合に、その複数の情報を、1つの情報に統合し、統合情報とする統合手段（例えば、図34に示すメール作成部94など）をさらに備え、送信手段が、統合情報を送信することを特徴とする。

【0025】請求項11に記載の情報処理装置は、コンピュータネットワークを介して送信されてくる嗜好情報を受信する受信手段（例えば、図29に示す通信制御部81など）と、嗜好情報を嗜好情報記憶手段に登録する登録手段（例えば、図29に示す登録部85など）とをさらに備えることを特徴とする。

【0026】なお、勿論この記載は、各手段を上記したものに限定することを意味するものではない。

【0027】図1は、本発明を適用した情報提供システム（システムとは、複数の装置が論理的に集合したものをいい、各構成の装置が同一筐体中にあるか否かは問わない）の一実施の形態の構成例を示している。